

平成 23 年 12 月 1 日

平成 23 年度学術情報流通改革検討特別委員会活動経過報告

1. 会議等の開催状況

(1) 第 1 回委員会（平成 23 年 9 月 6 日開催）

- ・ 大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）の活動状況について
- ・ 電子ジャーナル・バックファイル等の整備について
- ・ SCOAP3 について
- ・ 特別委員会の今後のあり方について
- ・ 今年度の活動計画について

(2) メール審議

JUSTICE による電子ジャーナル契約状況調査結果の公開方法、シンポジウムの企画案等について、メール審議を行った。

2. 活動内容

(1) 契約状況調査結果の公開

JUSTICE から、電子ジャーナル契約状況調査結果（国立大学分の個票レベル）のデータ提供を受け、国立大学図書館協会のホームページに会員館限定のアクセス制限を付して掲載した。

(2) シンポジウムの企画

「学術情報流通の改革を目指して 5」として、電子ジャーナル・バックファイルの基盤整備（仮）をテーマとするシンポジウムの企画を行った（別紙参照）。

(3) その他

1) ICOLC（国際図書館コンソーシアム連合）への参加

平成 23（2011）年 9 月にトルコのイスタンブールで開催された ICOLC の会合に、静岡大学図書館の加藤憲二館長と一橋大学附属図書館の柴田育子雑誌情報主担当（JUSTICE 事務局実務研修生）が参加して、海外におけるコンソーシアム及び学術情報流通に係る活動について情報収集を行った。

2) 委員の増員

お茶の水女子大学・鷹野景子館長を委員に加えた。

3. 委員会委員等

委員長：	古田 元夫	東京大学附属図書館長（国立大学図書館協会会長）
委員：	堀 浩一	東京大学附属図書館館長補佐
	酒井 善則	東京工業大学附属図書館長
	鷹野 景子	お茶の水女子大学附属図書館長
	加藤 憲二	静岡大学附属図書館長
	吉田 素文	九州大学附属図書館副館長
	関川 雅彦	筑波大学附属図書館副館長
	熊渕 智行	筑波大学附属図書館情報サービス課長
	田中 成直	東京大学附属図書館事務部長
	渡邊 俊彦	一橋大学学術・図書部学術情報課長
	加藤 信哉	名古屋大学附属図書館事務部長
	大西 直樹	京都大学附属図書館情報管理課長
	濱崎 修一	九州大学附属図書館事務部長
事務局：	高橋 努	東京大学附属図書館情報管理課長

<別紙>

シンポジウム「学術情報流通の改革を目指して 5
～ 電子ジャーナル・バックファイルの基盤整備（仮）～」
（企画案）

1. 趣旨

電子ジャーナル・バックファイルの継続的・安定的確保は、我が国の学術コンテンツの基盤整備にとって重要かつ喫緊の課題である。国立情報学研究所と国公私立大学図書館協力委員会との協力協定に基づく「連携・協力推進会議」においても、今後電子ジャーナル・バックファイル等の整備を推進していくことが確認された。また今年度は、大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）と Springer 社とのパートナーシップ合意によって、全国レベルでのバックファイルへのアクセス環境の整備の端緒が開かれたところである。今回のシンポジウムは、海外のコンソーシアム関係者を招いて、それぞれのコンソーシアム活動の中で電子ジャーナル・バックファイル整備がどのように進められているのかという動向を知るとともに、我が国における電子ジャーナル・バックファイル整備のあり方、特にコンソーシアムの役割について議論することを目的として開催する。

2. 共催

国立情報学研究所（予定）、国立大学図書館協会

3. 開催日時

平成 24 年 1 月下旬～2 月初め

4. 開催場所

未定（東京大学内を検討）

5. 対象者

国立大学図書館協会会員館の館長、部課長、実務担当者
（公私立大学図書館からの参加も可とする）

6. 定員

150 名程度

7. プログラム等

- ・我が国における電子ジャーナル・バックファイル等整備の取組みの報告
- ・ドイツ、フランス（COUPERIN）等海外のコンソーシアムによる取組みの報告
- ・オープンディスカッション（フロアーの参加者も交えて討論）
- ・まとめ